

ひきじだい

令和4（2022）年12月23日
冬休み号

大和市長
引地台小学校



「冬休みの生活習慣！」

校長 箱崎 勝美

コロナ禍で迎えた2学期でしたが、3年ぶりの運動会、各学年の遠足、6年生の修学旅行、5年生の宿泊移動教室（キャンプ）等も、無事に終え、本日、12月23日（金）、終業式を迎えることができました。皆様にはご協力をいただき、心より感謝いたします。

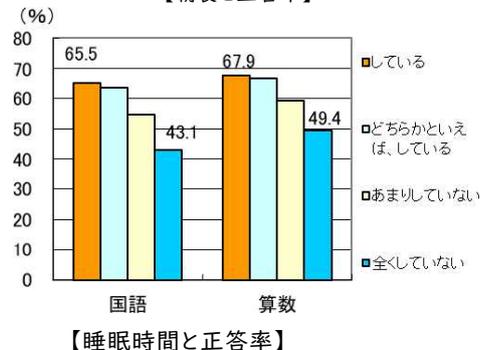
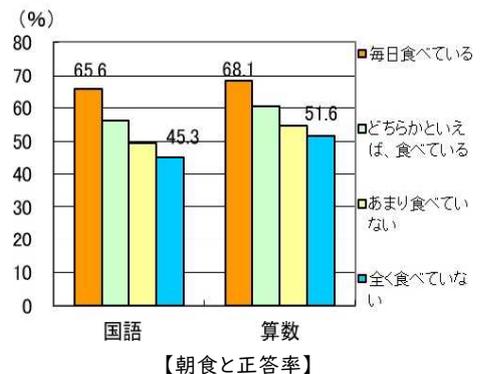
先月、11月23日（水）に大和市社会教育委員会議主催で行われた家庭教育支援講座に参加してきました。テーマは「早寝、早起き、朝ごはん」で、子どもたちが元気にすごすためには、早く朝起きて、しっかりと朝ご飯を食べ、日中は勉強や運動をし、夜はぐっすり眠るというように『生活リズム』を整えることが大事だという内容でした。

文部科学省の調査（学力・学習状況調査令和3年度の児童質問紙から分析のグラフ）によると、正答率は睡眠を十分にとっている児童、また、朝ご飯をきちんと食べている児童、適度に外で運動している児童ほど高い傾向にあります。そして、スマートフォンや携帯電話、PC、テレビなどのゲームをする時間が長い児童ほど正答率が低くなります。児童の健全な育成のためには、十分な睡眠とバランスのとれた食事、適切な運動に心がけ、規則正しい「生活リズム」を身につけることができるように学校とご家庭で協力して、取り組めたらと思います。

さて、修学旅行の引率で、6年生と一緒に東照宮に行ってきました。児童は奥宮の207段の階段を元気に登って行くのですが、私は登って行ったら、急いだためか、へとへとになってしまいました。へとへとになったところで、徳川家康の遺訓が書いてある看板に目が止まりました。それには、「人の一生は重荷を負うて遠き道を行くがごとし。急ぐべからず。」と書いてあり、少々急ぎすぎたかなと思いました。さらに、徳川家康の遺訓を調べて見ると、「堪忍（我慢すること）は無事長久の基（長く安らかでいることができる基礎）、怒りは敵と思え。」とあり、教育も急ぎ過ぎず、怒らないで、落ち着いて、丁寧に指導していくことが大切だと思いました。

最後に、冬休みは2週間と短いですが、一年の終わりと始まりを経験する大切な時期です。

ぜひ、年越しそばを食べる時など、今年一年、子どもたちの頑張ったことを振り返って、たくさんほめてあげてください。また、新しい年の抱負などを話し合っただけだったらと思います。今年も、保護者の皆様、地域の皆様には、コロナ感染予防に対してお協力いただき、また、本校の教育活動にご理解、ご協力をいただきまして、ありがとうございました。皆様、どうぞ、良いお年をお迎えください。



「こども110番の家」について

児童生徒が登下校や日常生活において、痴漢・いじめ・嫌がらせ・その他の助けが必要な場合の緊急避難所として地域の家庭や商店街等に協力していただき、児童生徒の安全を確保することを目的としています。

具体的には、児童生徒が「こども110番の家」の看板を見て、避難を求めてきましたら、①児童生徒を一時的に保護し、②児童生徒より状況を確認して、警察に連絡し、③児童生徒の保護者・学校が迎えが来るまで保護していただきます。

現在、「こども110番の家」を募集しています。登録していただいた方には、「こども110番の家」の掲示をしていただきます。地域の方、児童のご家庭などご協力いただける方は、学校（tel261-9552）にご連絡ください。

